

第1回 双葉町復興まちづくり委員会

生活再建部会 議事録

- 日時 : 平成24年11月12日(月) 午後3時05分～午後4時30分
■場所 : 双葉町役場埼玉支所 4階家庭科室
■出席者 : 生活再建部会委員
事務局(双葉町企画課)

(参照: 第1回生活再建部会座席表)

1. 開会

【事務局 駒田 義誌】

これより、第1回部会を始めます。以降の進行は議長にお願いしますが、まだ、部会長の選任の議事がございますので、それまで暫時、産業振興課長の山下委員に議長の任を務めていただきます。

2. 部会長並びに副部会長の選任

【山下 正夫 委員】

只今、ご紹介ありました産業振興課長の山下であります。部会長が決まるまで、暫時の間、私が議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。では、座らせて行わせていただきます。まず、2番目の「部会長並びに副部会長の選任について」ですが、部会の運営につきましては、委員会の規定を準用することとされておりますので、委員の互選により、部会長並びに副部会長を選出する必要があります。まず、はじめに部会長の選任についてですが、どのような方法で選任すればよろしいか、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。よろしくお願いたします。

【藤田 博司 委員】

事務局の腹案はないのですか。

【山下 正夫 委員】

只今、藤田委員から事務局の腹案がないかというご質問ですが、他にありませんか。なければいいですか。

[腹案があればそれでよいと呼ぶ声あり]

【山下 正夫 委員】

それでは私の方から、部会長候補ということで、下条区長の藤田委員にお願いしたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

[拍手する委員あり]

【藤田 博司 委員】

ちょっと待って。11月と12月も、このまちづくり委員会の時に、区長のあれとぶつかるんですよ。それで、欠席せざるを得ないので、違う方に選んでもらったほうがよろしいと思います。

37 そういうのは先に打合せしてきて、言うものだが。

38 【山下 正夫 委員】

39 申し訳ございません。もし、どうしても部会長が欠席ということになれば、副部会長で、また、
40 議事を運営していただくような形になると思いますので、よろしければ受けていただきたいなど
41 いうふうに思うんですが。

42 【藤田 博司 委員】

43 基本的には、前もって打合せして、それで「今度、事務局としてはこういうことですよ」とい
44 うふうにしてやるのが本当なんだよ。だって、今、私はそういうことは話してなかったから、い
45 いな、ということで、「そしたら決めてあるんだろう」と思って、そういうふうな提案したんで
46 すよ。

47 【吉田 岑子 委員】

48 常時出て来れる人がいいね。

49 【山下 正夫 委員】

50 そういうお話なんです。どうでしょうか。他に、適宜、部会長したいという方がいらっしや
51 ればいいんですが。もし、なければ、また、私が選任してよろしいですか。

52 【藤田 博司 委員】

53 そりゃ打合せして本人がいいと言えばね。

54 【山下 正夫 委員】

55 打合せというよりも、あれですけども。どなたか是非という方がいれば。では、打合せしなか
56 ったのが悪いというご意見です。確かにそのとおりとは思いますが。では、また、私から、ま
57 た怒られるかもしれないんですが、つくばの自治会長なっている中村委員どうでしょう。

58 【中村 希雄 委員】

59 私は、時間的にまったくできない。自治会長、つくばだけじゃなく、地元の自治会長もやって
60 いるのと、双葉の大字中田区長総会も何もやってないのもあるのと、地元の NPO、大学関係の
61 出入りもあるので、1 ヶ月で 3 日くらいしか何にもない日ないんですよ。昨日も明日も。だから
62 ここ来るのやっとならてくるくらいで。だから無理なんです。申し訳ないんですけども。11、12、
63 ほとんど無いの、休みが。

64 【山下 正夫 委員】

65 では、皆さんにずっと聞いていくとなかなか決まらないので、高野重紘委員、どうでしょう。

66 【高野 重紘 委員】

67 俺は意見言いたいほうだから。

68 【山下 正夫 委員】

69 議長でも意見は言えますので。

70 【高野 重紘 委員】

71 議長は、うるさいやつほど議長にしろ、というくらいで。意見言うやつを議長にしとくと、意
72 見でなくなるでしょう。

73 【山下 正夫 委員】

74 議長でも意見は言えますので、それは。どうでしょう、皆さん。

75 [拍手する委員あり]
76 【山下 正夫 委員】
77 よろしいですか。では、高野委員を部会長として、ご指名いたしますので、よろしくお願
78 いたします。
79 【高野 重紘 委員】
80 意見言えねえな。
81 【山下 正夫 委員】
82 大丈夫、意見言えますから。続きまして、副部会長の選任に入りたいと思います。どなたか、
83 副部会長として、是非やりたいという方がいらっしゃれば。
84 【中村 希雄 委員】
85 女性がいいんじゃないですか。
86 【山下 正夫 委員】
87 女性がいいのではという、中村委員からのお話がありますが。
88 【藤田 博司 委員】
89 まったく、その通りです。
90 【吉田 岑子 委員】
91 鶴沼委員にやってもらったらいんじゃない。
92 【鶴沼 友恵 委員】
93 本当に申し訳ないんですけど、いつ欠席とかという事態になるか分からなくて、申し訳ない
94 んですが。それこそ、吉田委員なんかいかがでしょう。
95 【吉田 岑子 委員】
96 女性部長として、まだ現役なもんですから、本当にこの次 2 回とも休まなきゃいけないん
97 ですよ。だから、そんなことで私は、オブザーバー的なもので十分でございますから。
98 【中村 希雄 委員】
99 渡邊ゆかり委員。
100 【山下 正夫 委員】
101 渡邊ゆかり委員という声があるんですが、どうですか。よろしくお願いたいたいたいた
102 [お願いたしますと呼ぶ声あり]
103 [拍手する委員あり]
104 【渡邊 ゆかり 委員】
105 ちょっと待って、ちょっと待って。
106 【山下 正夫 委員】
107 それでは、申し訳ないのですが、副部会長ということで。大丈夫です。皆さん、サポートして
108 いただきますので、よろしくお願いたします。それでは、部会長に高野重紘委員、それから、
109 副部会長に渡邊ゆかり委員ということで、本部会の部会長、副部会長を選任させていただきました。
110 では、部会長及び副部会長の方は、前のほうに席がございますので、前のほうにご着席いた
111 だきたいと思います。また、名札等、部会長、ありますので、名札と一緒に持って来ていただ
112 ければ助かります。それでは、仮の議長を降ろさせていただきます。これからは、部会長のほうで、

113 進行をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

114 【高野 重紘 部会長】

115 座ったままで失礼します。第1回の生活再建部会という形で、部会長ということで、議事の進
116 行を委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。私、高野重紘と申します。それでは、議
117 事に入りたいと思いますが、本日の議題は、仮の町の形態についてです。

118 【藤田 博司 委員】

119 議長。副部長がまだ。

120 【高野 重紘 部会長】

121 すいません。副部会長の紹介。

122 【渡邊 ゆかり 副部会長】

123 急に副部会長ということで、びっくりしてるんですけども、皆様のご協力のもと、高野委
124 員におんぶに抱っこにさせていただきながら、頑張りたいと思います。渡邊ゆかりと申します。
125 よろしくお祈りします。

126 [拍手する委員あり]

127 【高野 重紘 部会長】

128 私もこういう議長席というのは、あまりやったことございませんので、もう汗がだくだくだ
129 っていますが、なんとかやりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

130

131 3. 議 事

132 (1) 「仮の町」の形態について

133 【高野 重紘 部会長】

134 それでは議事に入りたいと思います。本日の議題は、「仮の町の形態について」です。本日、
135 ご議論いただきたい、仮の町の形態の論点について、事務局からの資料の説明をお願いします。

136 【事務局 駒田 義誌】

137 それではお手元の資料2、3、4、5まとめて、私のほうから説明をさせていただきます。今、
138 部会長からお話があったとおり、今日この部会では、仮の町の形態について、ご議論をいただ
139 ければと思います。大きく2つの論点、今日ご議論いただければと思います。

140 1つは、仮の町について、集中型がいいか、分散型がいいか、これは非常に大きな論点だと思
141 っております。そのメリット、デメリットについて、皆さんにご議論いただきたいと思ってお
142 います。ただ、これメリット、デメリットと言われましても、なかなか議論しづらいと思いま
143 すので、このA3の形で、それぞれどういう点が議論となるのか、これは役場の中でも若手で、今、
144 プロジェクトチームでも、役場の若手で議論をしております。その中の議論の成果も踏まえなが
145 ら整理をしたものになりますので、ここをちょっとご紹介させていただいて、ご議論いただ
146 ければと思います。左側に、集中型による整備ということで、この集中型による整備の定義とい
147 うのは、双葉町民がどこか1カ所に、集まって住むことができる町を整備するということです。もう
148 1つが右側の部分というのが、分散型の整備ということで、これは双葉町民が住む災害公営住宅
149 を、ある自治体、場合によっては自治体も複数かもしれません。その中で分散して、整備をし
150 いくというやり方になります。もちろんこの間を取るようなやり方もあるかもしませんが、ま

151 ず、今回議論していただく上では、少しこの両方を、はっきりとした定義の中でご議論いただけ
152 ればと思います。

153 まず1つ、全部で7つのカテゴリを作っておりますが、1つは、町の整備ということで、実際
154 にその仮の町を整備していくに当たっての課題というのと、例えば、受け入れ自治体との調整の問
155 題、土地の確保の問題、また、土地の造成、施設の建設にかかる時間、町として必要な機能の確
156 保といった点について考えなくてははいけません。その点について、それぞれ集中、分散、どのよ
157 うなメリット、デメリットがあるのかと、申し上げれば、1つは、受け入れ自治体との調整とい
158 う意味では、集中型の部分では、やはり、その受け入れ自治体からの理解が得られるかどうか
159 が1つの大きな課題になります。一方で、分散型では、その理解については比較的容易に受けら
160 れるというメリットがあります。土地の確保につきましても、やはり、集中型ということになると、
161 一段の広い土地というのが必要になりますが、その確保というのがなかなか難しいという恐
162 れがある一方で、分散型では、土地の確保は比較的、容易であるというメリットがあります。土
163 地の造成、建設に要する時間という意味でも、集中型による整備だと、やはり、整備が長期化す
164 るような恐れというデメリットはある一方で、分散型では、整備がそれぞれ個別にやってきます
165 ので、早く、同時並行で進んでいくという期待が持てるということ。町として必要な機能の確保
166 という面で見ますと、やはり、集中型のほうがメリットがございまして、医療、医療施設である
167 とか福祉施設、また商業施設といったものが、集約して整備をすれば、規模のメリットというの
168 はかなりございますので、そういった意味のメリットが大きい。一方で、デメリットとしてある
169 のは、場合によっては、仕事がある若い世代、現役世代が来れないってことになると、高齢者が
170 多いと将来的に限界集落のような形になってしまうのではないかという懸念の声もあります。一
171 方で、分散型になってくると、双葉町民が少ない人数で公営住宅のような形で分散していくこと
172 になると、町独自の施設設備がなかなか難しく受け入れ自治体に依存していかなきゃいけない
173 ということになるので、そういうデメリットをどう考えるかというのがあります。これ以外にも
174 町の整備について、メリット、デメリットあると思いますので、その点ご意見いただければと思
175 います。

176 2つ目は、役場機能という面で見ると役場の組織の配置という面で見ると、集中型のほうが人
177 員配置が効率的にできというメリットがある一方で、分散型という支所を複数配置していくこ
178 とになりますので、効率の低下という問題があります。行政サービスの効率性、町民の皆さんに
179 行政を提供するという面でも、集中型のほうが情報提供だとか、周知がかなり効果的にできると
180 いうメリットがある一方で、デメリットとしては、仮の町以外の人へのサービスが低下してしま
181 うというデメリットがあります。一方で、分散型については、役場からの情報提供、周知が行き
182 届かないというデメリットがあります。これ現に今、現時点でも生じている大きなデメリットだ
183 というふうに思います。

184 あとは、学校の再開という面にとってみると、集中型になると、子どもがそれだけ集まれば、
185 双葉町としての学校の再開が容易になるという、これは非常に大きなメリットだと思います。一
186 方で、そういったところにそもそも子どもが集まってくるのかどうか、先程の限界集落の議論と
187 似てきますけれども、そういう懸念の声があります。一方で、分散型にしてしまうと、子どもた
188 ちがそれぞれいろいろな地域に分散していくことになりますので、小中学校の再開というのはな

189 かなか困難になるのではないかという懸念があります。

190 仕事という面で見ますと、やはり集中型になると、顧客の確保、特に自営業とかされていた方、
191 今まで双葉の方を相手に、ご商売をされていた方々という面で見ると、皆さん集まって1ヵ所に
192 住むことによって、旧来の顧客を活かした商売をされるのが、容易になるというメリットが非常
193 に大きいのではないかと思います。一方で分散型になると、今までお相手をされていたお客様と
194 いうのが分散してしまうわけですから、なかなか今までと同じような自営業を再開していくとい
195 うのは難しいという課題があると思います。一方で、仕事の種類として見たときに、1ヵ所に集
196 まることによって、業種も限定されていくということで、この仕事限定されるということのデ
197 メリット。一方で、いろいろな場所にいろいろな家があるということは、それだけ仕事の幅も広
198 がっていくことになるので、その辺のメリット、デメリットをどう見るかということ。

199 あとは、町民のコミュニティという面で見ますと、集中型というのは、居住地が限定されます
200 ので、選択肢がそれだけ狭くなります。分散型は、居住地の選択のメリットは、町民のニーズに
201 合わせた形で広がります。一方で双葉町の一体性と見たときに、集中型の方が双葉町と一体性が
202 確保できるという非常に大きいメリットがある一方で、分散型になるとその土地にとけ込んでい
203 くこととなりますので、双葉町離れというのが懸念されます。コミュニティを新しくつくってい
204 くという面でも、集中型のほうが、これまでの町民のコミュニティが、再開できるというメリッ
205 トがあります。一方で分散型になかなかこれまでの町民のコミュニケーションは取りづらくなる
206 というデメリットがある一方で、新たなコミュニティという期待もできるというメリットもある、
207 という意見もあります。あとは、受け入れ自治体の住民との関係を見ますと、集中型となります
208 と、どうしても多くの双葉町民が集まってくるということから、受け入れ住民との軋轢というの
209 が、生じないようにしないといけないんですけれども、そういった実際に懸念される恐れがある
210 という一方で、分散型になると、受け入れ自治体の方と新たなコミュニティ、新たなつながり
211 いうのを生まれていくという、新たな一步を踏み出していくという意味ではそういったメリット
212 があるという意見もあろうかと思えます。

213 あとは双葉町の伝統文化という面で見ますと、伝統文化の継承というのは、集中型になれば、
214 いろいろと容易な面が多々あります。民俗芸能の構成員の方が集まっているであるとか、そうい
215 う文化、施設を1ヵ所につくることのメリットが出てくる一方で、分散型になると、民俗芸
216 能の構成員が、それぞれ住まいが別になると、分断されていくと、伝統芸能の廃絶というのも懸
217 念がされてまいります。一方で、避難先と融合して新たな双葉の文化をつくっていくということ
218 も考えられる、というようなメリット、デメリット。これは、あくまでも例示ですので、これ以
219 外にもたぶんいろいろと皆さんお思いになるところがあると思えますので、本日これについて、
220 大きくご議論いただきたいと思えます。

221 2点目の議論になりますが、仮の町というのは果たして仮なのか、というところが大きな議論
222 になると思えます。避難生活が長期化すると必ず、先程の議論でもありましたけれども、そうい
223 った点からすると、単に帰還までの拠点が仮の町ということだけではなくて、双葉町へ帰らない
224 と決めた方の生活の本拠、新たなふるさととしての仮の町。また、新たに双葉町のコミュニティ
225 に移り住む、双葉町以外の方というのを受け入れていくようなそういう仮の町といった考え方も
226 必要と見るかどうか。これはたぶん、皆さんのお考え、ご議論いただかなくてはいけない点だと

227 思います。現に、仮の町というのは、どちらかという、帰還を前提としてそれまで、どうい
228 所で暮らしていくのか。

229 生活再建部会資料4 ということを見ていただくと、今の浪江、大熊、富岡、復興計画の中の位置
230 づけで、それぞれ、考え方によって、名前も異なっております。例えば、浪江であれば、町外コ
231 ミュニティということで、町外に災害公営住宅を中心としたものを整備して、ふるさとまでの生
232 活再建、次なる生活拠点を確保していくという位置づけになっております。大熊は、将来的に、
233 いわき市に町指定地というのをつくっていくという考え方に立って、将来的には、10年後から
234 その先に向けて、大熊町を取り戻すという計画になっています。富岡に関して言えば、3つのサ
235 テライトという言い方をされていて、郡山、いわき、あとは町内の低線量地区ということ念頭に
236 して整備をしていくという考え方に立っています。こういった中で双葉町については、先程の集
237 中、分散の議論もそうですし、こういった仮の町というのを帰還するまでの仮の拠点して考える
238 のか。それよりもう少し先のもを見据えて考えるのか。その点についてで、まちづくりの考え
239 方変わってまいりますので、そこを広く、ここの部会でご議論いただきたいと思います。

240 その議論をする参考として、資料5 ということ、仮の町の形態にかかる町民の意見・提案と
241 いうことで、7000人の復興会議の中でも、ここの部分については様々な意見があります。そこ
242 を少し、主要なものをご紹介します。昨日のつくばの部分だけ整理が間に合っておりません
243 ので、配布しておりませんが、福島から郡山まで6会場分入れております。1つ、仮の町
244 の集中型に関する意見としては、町民が集まるのが大事だ、今までと同じくらいの規模で、病
245 院、学校をつくっていくことが大事だと。1カ所で集まったら予算が分散しなくていいという意
246 見がある一方で、1カ所がいいのだけでも現実的には難しいのではないかと、また、ニュータウン
247 にしてしまうと、子どもたちが出て行ったときに荒廃してしまうのではないかと。それは今、首都
248 圏でのニュータウンでも一番大きな問題になっている点になります。あとは2番目として仮の町
249 が分散型に関する意見ということで、仮の町については、候補は複数ほしいということ、1カ所
250 で集まるには無理がある、複数箇所が必要なのではないかと、あとは、プチ双葉町というものを各
251 地につくっていく、そこで生活をするというような意見が町民の方から出ています。

252 あとは、仮の町の形態ということでは、先程言ったように、帰る前提でのコミュニティという
253 のをつくるべきだというご意見がある一方で、仮の町というのは帰還のための中間地点という
254 ところではない、という意見、また、仮の町とは一体なんなのか、仮ではすべてが中途半端だ、と
255 いうことで、本気で住む決意をもって臨むべきじゃないか、というご意見もありました。

256 あとは、仮の町の要件としては、県内のどこかに合同で新たなコミュニティをつくるべきじゃ
257 ないか、また、家族がバラバラで生活せず一緒に暮らせるような町が必要だという意見。あとは、
258 住居、生活の糧、生業、経済、全てが揃わないと仮の町とは言えない、というご意見がありまし
259 た。この点についてはまた次回の委員会で、仮の町の機能という点についてはまた集中的に議論
260 していきますが、形態を考えるうえでの参考として、抽出して載せております。

261 更に、もう1つの意見、仮の町は不要との意見ということで、もう既に仕事や教育の方で、現
262 在の居住地を継続したいので仮の町には行かない、という意見。2つ目、2ページ目になります
263 けども、双葉町民はそれぞれの町に移り住んで、市民権、これはたぶん、住民票のことを言っ
264 るんだと思いますが、そういうのを取得して生きていくべきだというご意見。あとは、仮の町に

265 自分は行かないんだけど、同じような支援は受けない、というご希望。こういった意見が、
266 7000人の復興会議の中、あと、他の意見は後ろにエクセル表で付けてありますけれども、こう
267 いった意見が町民の方々から出ています。こういった点も踏まえて、先程お話しした、仮の町の集
268 中・分散のメリット、デメリット、また、仮の町をどう考えるのかという点について、本日はご
269 議論いただければと思います。よろしくお願いします。

270 【高野 重紘 部会長】

271 事務局の説明が終わりました。それでは、仮の町の形態について、皆さんからの意見をお聞きし
272 たいと思いますが、どうぞ、何か、ありましたら、手を挙げて、意見をおっしゃってください。

273 【井上 六郎 委員】

274 これは双葉町の考え方なわけなんですよ。この考え方は、双葉町だけの考え方なんですよ。
275 相手のある仕事でもあるわけですよ。そこで考えられるのは、例えば、アンケートの結果、役
276 場機能をいわきに持っていくんだということになりました。ところが、それもいいだろうと。私
277 らの考え方としては、「人口が多いから、そこに拠点を置くんだ」という考え方ではなくて、全
278 体を見回して、そして考えていかななくてはならないことだから。端的に言うならば、郡山だと、
279 いわきからも、それから福島、仙台、山形からも、それから会津からも、南からも北からも良い
280 場所になるわけですよ。だから、これで考えられることは、機能はいわきに持って行っただけ
281 けれども、会議や集会や住民が集まりやすい所というのは郡山じゃないのかと。誰も考えます
282 よね。多くの方がそう話しています。これは前置きなんですよ。そうすると、あの新聞紙上な
283 んかで見ますと、いわき市の市長は、「いわき地区では集中した集落があっては困るんだと」、「場
284 所がない」と。もちろん双葉町ばかりがあそこ行ってるわけじゃないんですよ。大熊だって、
285 浪江だって、全部そこを狙ってるわけなんですよ。そういうことを考えると、どうしても分散型
286 になるんじゃないのかと。ただ、分散型になった方がいいというメリットもあるんですよ。例
287 えば、今ほとんどの若い人たちが就職してますよね。そういう人たちは定職を持って、もう大体、
288 住む場所を決めてるわけですよ。子どもたちも学校にあがってるわけですよ。それを果たして、
289 集中したその地域に移ることができるのかどうか。これも大きな問題として考えていかななくては
290 いけないだろうと思います。そうやってきますと、分散型のほうがいいんじゃないかと。ところが、
291 分散型のデメリットが出てくるわけですよ。最終的に考えられることは、私たちも、あの
292 木村先生の講演、あれは真実ではないのかと。国、東電の言うこと、それからあの部会長が言っ
293 てることね。もう信用できないことばかりだと。それはもう極めつけなんですけど、この会議で、
294 決められたことは、それで運営されていくようになるのかどうかと。答申どおりなるのかどうか
295 と。そこが非常に疑問に感じます。答申どおり受け取ってくれるのならば、我々も真剣になって
296 討論していかななくてはならない。ところが、首長の考え方としては、どうなのかと。首長の考え
297 方、一言で、今まで話し合ってきたことが水泡に帰するのではないかということになりますと、
298 今までやってきたことは何だったんだということになるんですよ。そう思いませんか。だから、
299 そのアンケートだなんだかんだ、同じ事を何回も何回も取って、結論を出せない。何回取っても
300 同じなんですよ。我々はもう帰れないのだという認識でいっぱいなんですよ。そこに持ってきて、
301 今度は仮の町をつくらうとか、なんとかということについては、ある面では意味がないのではない
302 のかと思います。では、どうするのだと。私も最初は、集中型か分散型かという意見のほうを

303 書きました。もう1つは、個人個人で、補償さえすれば、その町に溶け込んで、新しい家庭を築
304 いていくのではないのかと。そうすると、さっきから聞いていると、双葉町の存在はどうなんだ
305 と。双葉町の存在を強調するためには、どんな手当があるのかと。そこは、非常に大事なことで
306 はないのかと。これは双葉町だけで考えることではなくて、双葉町という名前を残しておくので
307 あれば、郡全体でまとめて双葉町という構想を考えていくのか、どうしても双葉町は独立してい
308 かなくってはならないのか、というところにも問題があるのではないかと思います。時間も大分迫
309 ってきてます、まだまだ話したいことはあるのですが、以上。

310 【高野 重紘 部会長】

311 それではどなたか。

312 【荒木 幸子 委員】

313 双葉中学校長荒木と申します。よろしく願いいたします。私的な意見でございますけれども、
314 本当の双葉町に戻れるのは、廃炉作業であるとか、線量の問題であるとか、そういうことを考え
315 たときに、なんとかした形で戻れるとしても、やはりかなりの時間が必要かなと思います。私は、
316 いろいろなデメリット、メリットを考えた中で、集中型を推します。その根拠としては、学校の
317 立場で申し上げますと、双葉町の復興を担うのはこれからの子どもたちだと思いますし、伝統、
318 文化の継承とかそういった双葉町の名前を残していくという意味で考えれば、集中型でどこかに
319 拠点を築き、川内村ではないですけども、来れる人から来る、という形でまずスタートすべき
320 だと思います。学校の生徒はたぶん3人とか5人とかしか集まらないかもしれません。それでも
321 とりあえず、町として、学校として、双葉町を残すのであればスタートをしなければいけないの
322 ではないかと思います。いろいろな問題はあるとは思いますが、町のシンボルである学校
323 をスタートしない限りは双葉町はなくなってしまうのではないかなと危惧しています。仮の町
324 と別に、私は、いわきであっても郡山であっても、とにかくどこかで早く学校を再開しなければ、
325 何年かあとに仮の町に学校つくったとしても、もう戻ってこないと思います。植田に来年度、役
326 場機能を移すのであればそれと同時に、まず学校を再開させて、そして仮の町とは切り離して一
327 足早く、学校を中心としたコミュニティというものをスタートさせるべきではないかなと学校の
328 立場としては考えています。以上です。

329 【高野 重紘 部会長】

330 次に誰か意見ありますか。

331 【吉田 岑子 委員】

332 商工会の代表の吉田岑子と申します。要するに私も商工会としての立場を考えますと、分散型
333 よりも集中型のほうがいいのかなと。こないだも商工会の中の部長の集まりがありましたけれど
334 も、要するに今バラバラになって、商売というのは双葉町だからできた、双葉郡だからできた、
335 というのはあるんですよ。他町村に行っても、できる商売とできない商売がありまして、これは
336 大きな問題になってきてますね。集中型にしたらどうしたらいいのかということを皆さんにお話
337 聞きましたら、「今、福島空港だって赤字路線だ」と、「それから福島の未来博をした土地はどう
338 なってるんだろう」とか、「すごい土地があるはずなのに、そういう所を検討しては、提供して
339 くないだろうか。そこに双葉町の部分、浪江町、大熊町、富岡町と帰れない帰宅困難な地域だ
340 けが集まれば、そこで商売ができるのではないか」というのが話にもなったのですが、当然

341 そうなれば、学校もできると思います。そんな形で、かといって、それはどうするかということ
342 は煮詰まってませんけれども、そういう集中型もありかなと。だから、新双葉町としたものをそ
343 ういう所にできたらいいかなと。ただいろいろな皆さんの話を、年寄りの皆さんの話を聞けば、
344 温暖な気候がいいということになれば、福島空港だ、未来博の跡地だというのは、確かに雪の降
345 る所なんですね。だからそんなところいろいろありますので、それが果たして良いのか悪いのか、
346 まだ分かりませんが、意見として、私はそう思います。

347 【高野 重紘 部会長】

348 どなたかございませんか。

349 【中村 希雄 委員】

350 中村です。仮の町という言葉なのですが、確か10月3日頃のインターネットでもでっかく載
351 ってたのですが、いわき市では仮の町は認めないと。仮の町というのは必ずなくなるものだから
352 ね。あとで議題にありますけど、仮の町の考え方がどういうふうに決まったとしても、仮の町と
353 という言葉は、今更言うのも遅いかも分かりませんが、使うべきじゃないと思うんですよ。双葉
354 町だけなんです。新町とか。浪江は原町のあの辺だと新町浪江とか、町外コミュニティだ、サ
355 テライトだって使ってますが、仮の町という言葉自体がそれだけで弊害があると思うんですよ。
356 もう必ずいなくなるもんだし。受入る自治体だって、どうせいなくなるんだから。こんな所へ商
357 売来る人いないですよ。この空いた土地どうするんですか。ですから名前自体に問題があるんじ
358 ゃないかと、まず1点。今更という感じなんです。先程質問したかったんですが、時間が20
359 分オーバーしてたから控えたんですけども、この仮の町というのは、大きな問題だと思んですよ。
360 先程の復興庁の仮の町の7項目、あれは完全に悩み事を網羅して、すごく分類されて、よくでき
361 てると思うんですけども、ただ、こういうところでは抽象的なことじゃなくて、自分が今いる
362 ところを振り返って、本当のことを言わなくてはいけないと思うんで、私は自分のことを言うん
363 ですが。確かに獨協医科大学准教授の木村真三委員は、結構正しいこと言ってるんですが、あの
364 人も、政府の顧問もやっているんですよ。だから、完全な独立の学者じゃないんですよ。本当の
365 放射能学者2、3人いるんですが、その人たちは、「福島のは、福島県産はもう食べない方がいい
366 い」とはっきり言っているんですよ。ここだから言うんですけど。「福島には住むべきでない、
367 住んでも考えられない」という学者もいるわけなんです。それが、実際、いわきの子ども
368 は茨城へ来てるし、福島や郡山の子どもたちは他へみんな避難してるんですよ。それなのに、我々
369 双葉の子どもたちは親に連れ添って、危ない渡利へ行ったり、郡山、二本松、先程、二本松、学
370 校に集まらないと言いましたが、地元の若い親はもう、うんと勉強してるんですよ。だから、40
371 前の若い人は帰るわけないんですよ。そういう危険を知ってますから。うちの息子は回転寿司に
372 ももう行かないから。国はそういうことを発表しないからね。今は浅い魚危ないけど、いずれは
373 下行くから穴子はどうか。そういう話題で持ちきりですからね。ですから、この仮の町のあり
374 方なんです。名前は問題としても、私は現在つくばにいるんですが、私は、現実的な問題で、
375 分散型であるべきだろうと。集中的なんていうのは、集中的だと言っても、まず全部集まること
376 はできないので、そうしたときに、1ヵ所しかできないという意味になろうかと思うんですよ、
377 集中といえば。集まれる人だけが集まると。例えば、騎西にいる具合が悪くて動けない人。年金
378 が3万円くらいで食っていけない人、そういう現実的にそういうふうになろうかと思うんです。

379 社会福祉協議会があるところとか。そういうことがぶら下がっていくわけなんですよ。それで、
380 私の問題ですけども、確かに福島県は人口減らさないために、県外出るのを非常に知事は嫌がっ
381 ってますよ。最近、言わなくなりましたけども。ですけども、本当に、子ども、これからのことを
382 考えたらそういうこと言っているのかと。とんでもないこと言ってるのをみんな自覚してないん
383 ですよ。こういうふうには、井戸川町長は素晴らしいと思うんですよ。あの人は恐らく植田
384 なんか移る気はないと思うんです。あれは議会に圧されて言ってるだけで。あそこだって元炭鉱
385 の跡で下は空っぽですからね。今、検討中というだけです。あんなのは恐らく私の勘では行
386 かないと思うんですよ。それが証拠にこないだ区長会議で、「役場職員の宿舎なんか考えてるん
387 ですか」と言ったら、「県に言ってる」と言ってますけども、県がそこまで本当に考えてくれる
388 か、今、仮設でさえ満足な場所がないのにね。職員のことまでああいうところに作ってもらえる
389 のかと、疑ってはいるんですが。本題なんですけども、つくばですと、アリーナにいた頃、本当
390 の話ですが、あの時、すぐ横に財務省本部がありまして、その石井次長という偉い人が、井戸
391 川町長に、つくばに 1,500 人くらい入れる宿舎があるからどうぞという声があって町長と谷津田
392 光治さんは 2 人で見に行ってるんですよ。確かに空いてるんです、今も 1,000 所帯くらいそっく
393 り。ただ、建物は古いんですね。33 年程もう経ってますから。ですが、例えば、私、並木とい
394 う所にいるんですが、一戸建てで 6 部屋ありますし、外装は汚れてますけどね、庭だって 50 坪
395 くらいあるし。みんなそこで草花植えて農家やって、物足りないで、周りの農家、無料あるいは
396 年間 5,000 円払って、いっぱいやってるんですよ。そして、いつも話し合ってるのは、我々はこ
397 こに骨を埋めると。5 年なんていう制限はありますけども、あれは、国では公務員宿舎は 5 年と
398 なってますが、私、前の所長に聞いたんです。私は「死ぬまでここにいて骨を埋めたいんだがで
399 きるか」と聞いたら、「それはできるよ」と言うんですよ。「出ないでいればいい」と。帰るとこ
400 ろがなければ、そりゃそうですよね。たぶん、他に空いた仮設があるから行けと言われるかもわ
401 からないです。でも、私らも 1 年半いますから、丸 1 年ですけども、あと 3 年半、4 年が期日な
402 んですが、私らは全員いるつもりでいるんですけども、ずっと。今はもう、つくばでは私は支援
403 物資も一切もらわないし、義援金も地域からくれるけど断ってるんですよ。なぜなら、もう自立
404 してるから。だから、今は流山を我々もうやったり、ここでお世話になった地元の騎西の人たち
405 の要望があれば、今度、騎西祭り踊りに来たり、アリーナへ踊りに行ったり、7 回くらい行って
406 いるんですよ。要するに、今まで避難してお世話になった人たちへの感謝の気持ちがみんなある
407 んですよ。地元で迷惑をかけない。そういうことで今、我々も今度は例えば、12 月 6 日に地
408 元の大穂という老人クラブ 150 人が、「是非、流山を見せてくれ」と言うので、また、来月入っ
409 たら 2、3 日練習やろうと思ってんですが、そういう状況でその他にも、筑波大学、毎週月曜日、
410 ニコニコ健康ラジオ体操なんて私も行ってますが、そういうところへ毎週行ってますしね。双葉
411 のばあちゃんら、私ら含めて 12、3 人、みんな無料です。そのほか地元でも、いろいろと学生さ
412 さんもやってくれるんですよ。例えば、筑波大、15,000 人の生徒いるんですが、4 年生、自転車全
413 部いらなくなりますね。そしたら、いい物を、我々のために、双葉だけじゃないんですけどね。
414 避難民のためにしてくれてるんですよ。もう 4 台貰いました。筑波大の先生が向こうで、もちろん、
415 防犯登録外して、登録し直して持ってきてくれるんですよ。今、順々に配っているんですけど
416 ね。これは 1 例ですけども。その他、いろいろなことやってくれてるんです。我々も地元には迷惑

417 かけないようにということで、絶えずみんなで話し合ってます。現状は、地元の人たちから
418 からは、大変感謝されてるんです。昔は、恐くて歩けなかった地域だったんですが、地元の自治会
419 の人たちは、犬の散歩からみんな歩くようになったんですね、綺麗になったから。このまま、み
420 んなはいたいと。ですから、つくばの人の大半は、全員に聞いたわけじゃないのですが、「ここ
421 にいる」と。だから「こういう自治会、仮の町が他に幾らできても行かないよ」と断言してます。
422 ですから、私は、できれば他の仮設で四苦八苦して苦しんでいる人たちも、もしゆったりしたと
423 ころへ来る気があれば、つくばへ希望すれば、いっぱい空いてんですよ、まだ。例えば、7階、
424 8階建ての集合住宅、双葉の女の4人しか住んでない、全部空いてるのに。もう、みんな出て
425 行ったあとですからね。ただ、問題は、先程、国と県の方に言いたかったのは、仮設や借上げから
426 借上げに移動できないという変なルールがあるんですね。あれは悪用を避けるためだと思う
427 んですが。もう、借上げはほとんど、いわきなんかでは更新してくれないんですよ。だって、
428 どんどんお客は来るのに、避難民が更新すれば、権利金、敷金が入らないわけですよ。だから、
429 もう切ってるわけ、現実。もう、3年までなんて言ってますが、延長はできないと思うんです。
430 そうした場合はもう住めなくなるんですね。あるいは、4畳半、6畳にいる人たちも、こないだ
431 4月に会ったときは元気だったのに、出歩くのが嫌になって歩かなくなって、よぼよぼになって、
432 落ち込んでる人が見受けられるんです。そういう人は、しがらみがなく、子どもの影響も受け
433 ないで、ゆったりしたところに行きたいと言う人がいるんですよ。先日も、「つくばに行きたい
434 けど」と言ったら、「断られた」と。仮設にいるから。だからそういうルールを廃止してもらい
435 たいわけ。私個人としては、自治会長としては、あんまり増えてほしくない、トラブル増えるから。
436 でも、本当に今、四苦八苦してる人のことを思えば、つくばへ来れる人はあそこを1つの新
437 町双葉というふうに、例えば、なればいいなというふうに、我々、つくばグループは考えており
438 ます。大変具体的な例です。以上です。

439 【高野 重紘 部会長】

440 大変、貴重な意見だと思います。

441 【鶴沼 友恵 委員】

442 母親の子どもを持つ身としても、子どもの被ばくの問題が第1なんですね。その中で、仮の町
443 というものをどうあるべきかといういろいろ、考えたんですが、まず、関東全域、大なり小なり汚染
444 されています。ここでも、やっぱりいろいろなことを注意しながら、生活していかなくてははいけ
445 ない状態ですが、福島は何より、私は日常生活での中の注意しなければいけないことがとても多い
446 ので、精神的にもたないと思って県外に留まっているんですね。それで、仮の町というものを今
447 後どうしていかなくてははいけないか、いろいろ考えたんですが、ある程度本拠地を、1ヵ所に、
448 やっぱり役場なり学校なり病院なり置かないといけないし、そこに行けない人たちは騎西だつたり、
449 つくばだつたり、どっかしらには20人とか50人とかで溜まっているので、そこら辺もきち
450 んと拠点として認めて、面倒みてあげるべきだと思います。それで、仮の町としたときに、まず、
451 誰が集まるのかというのを考えたら、役場関係者ですよ。それと町の中で、商工会、商店や自
452 営業やられてた方、あとは、生活弱者ですよ、まず集まるのは。それをどうしていくかという
453 のを考えますね。商工会で、商店とか商売をやられてる方というのは、商圈がまったく変わって
454 しまうので、その辺は商工会の皆さんで一生懸命考えていかなくてははいけないのかなと思うんで

455 すが、まずそれで、この辺りのお母さんたちの意見を聞きますと、中学校に入ったら高校受験で
456 す。そうなると、中学校に入ったら子どもたちは高校受験、進学か就職か、次決まるまで、5、6
457 年動けないんです。子どもが大学まで行った、就職まで行った、手を離れたら私は、仮の町なり、
458 双葉へ帰りたいわという。やっぱり、30代後半から40代の方々って、意外と町に帰りたいと言
459 うんです。若い世代の人たちはどうなるかという、低学年の子どもたちというのは、避難先で
460 馴染むが、ものすごく当然ですけど早いんですね。その中で、自分たちは、双葉の子である
461 いうのをどう考えていくか。娘に聞くと、子どもは子どもなりに、やっぱり被ばくしたことで、
462 福島県の子だって差別を受けるんじゃないかというのは、当然持ってまして、将来的にそれを隠
463 さないといけないのか、どうなのかというのも、まだ小学校6年生ですけども、それはしっかり
464 考えてます。だからそういうのも子どもたちに対しても、今後、アンケートなりなんかあると思
465 うので、集めていくというのは、大人が思っている以上に、ものすごい意見も持っていたりするの
466 で、参考になるかと思えます。以上です。

467 **【高野 重紘 部会長】**

468 集中型と分散型で、鶴沼委員はどちらをやるというような考えでしょうか。

469 **【鶴沼 友恵 委員】**

470 どちらかというよりは、中間ですよ。全部まとまって行ったら、やっぱり、そこで大人数、
471 何千人と集まったら、逆に言うと、もう始まってますよね、いわきでは。まとまった人数が行っ
472 たら、そこに行ったら、私たちは逆に避難者じゃなくて侵略者になるんですよ。それはいわき
473 で、今、双葉叩きとかなんかありますよね。そういうものだから、いろいろ、受け入れ先のこと
474 を考えると難しいものもあるし、かといって、大量な土地が必要であれば、そこは人が住まない
475 ような土地ですよ。そこでやっていけるのか、まちづくりどうしてくのかという。だから、私
476 もいろいろ考えるんですけど、答えは出ないんですけども、やっぱり中間くらいになってしまう
477 のかなとは思います。

478 **【高野 重紘 部会長】**

479 その他の方、まだ、意見言っていない方。

480 **【大久保 敏己 委員】**

481 今の鶴沼委員の意見と似てるところもあるんですけど、結局、もう中学校3年なので、もう、
482 父兄代表といっても、小中学校、今年1年で終わりなんですけども。実際問題として、子どもの
483 学校、今度、高校なんですけど、今、自分はいわきにいるんですけど、双葉にいれば、何の問題
484 もなく双葉高校に行くわけですよ。それが場所変わっちゃって、今まだ、学校も決められない状
485 態でいるんですけども。これから、今中学校だったり、小学校の低学年だったりする、それでも
486 う1年以上経って、馴染んできている人たちにとっては、その場で、これから先の次の学校とか、
487 いろいろな事を考える上でも、その場所のほうが生活は絶対しやすいと思うんです。ただ、仮の
488 町の話の前に、さっき校長先生とお話したときにも出ていたんですけども、学校の話で、子ども
489 たちが集まらなければ学校やらないのかと思うんですよね。実際問題として、そこでいろいろな
490 全国各地に行っている子どもたちが、馴染んで次のステップまでも見て生活をしてるのであれば、
491 仮の町で、何人集まったら学校やると言ったら、集まってこないと思うんです。どんな子を対
492 象に考えればいいのかというときに、先程、「植田のほうで学校行けない子がいますよ」と、そ

493 れをずっとよく調べて行って、アナウンスしていったら、もしかしたら至る所に実は、見えない
494 だけにいるのかもしれない。そういう子どもを持っている自分が、自分の子どもがそうだったら、
495 どうしてあげたいかといったら、「元の仲間子どもたちを集められる場所があれば、少人数で
496 あっても双葉中学校が、あそこに行けば双葉中学校があって、双葉の子たちばかりだから、そ
497 こだったら行けるよね」という話もできると思うんです。だから、仮の町とまた別で、とりあえ
498 ず学校を先につくってみるとかというのも大切なのかと。実際、仮の町と考えたときに、これだ
499 け全国に散って、もう自立されているところもある。自分なんかもうわきにいって、うちは中学校、
500 うちの子ども1人しかいないので、双葉から行っている子は。小学校のときから知っている仲間
501 たちのところに上手く入れたんですごく馴染んでいる。結構、いると思うんですよね。だから、
502 それを無理矢理集まって下さいと言っても、集まっては来ないと思うので、結局分散型で、至る
503 所で、至る所ではちょっと多すぎんのもかもしれないけど、拠点はどこに置くか、ということだと
504 思うんです。自分が今、思っているのは、とにかく学校をどこか、これから将来的に双葉町が拠
505 点になっていくであろう所に、学校もできるだけ近いところに持ってきて、よく先程から出てく
506 る子どもたちの将来のために、今、悩んでる子どもたちを少しでも救ってあげられる方法のほう
507 が、まずは先何じゃないかなと。

508 【高野 重紘 部会長】

509 そうすると、分散型という形ですね。

510 【大久保 敏己 委員】

511 現実的に集中型というのは無理だと。

512 【高野 重紘 部会長】

513 まだ、意見言っていない方で。

514 【藤田 博司 委員】

515 私は、1番最初、これがある時に話しましたが、分散型の方ですね。1年、2年、3年という
516 ふうになると、その避難している所に生活の基盤があるみたいに感じます。先程言った子どもさ
517 んの問題だったらば、今さっき、お話されたとおりですし、現に私も騎西高校に少しお世話にな
518 っていますけども、そここのところの子どもさんたちがいると、旦那さんは九州の方に行って、奥
519 さんはこっち、今は借上げ住宅のほうに移られましたけど、やはり、子どもさんが、この騎西、
520 加須市ですか、そこにいなければ、スムーズにいかない、というそういう事例もありますし。あ
521 と、若い方々は就職すればその職場から近ければ、例えば1時間くらいであるならば通勤可能圏
522 だと思いますね、この辺で考えればね。それは最初私が申し上げたとおり、分散型。それで私の
523 場合には、いろいろな思いもありますけども、皆さん、それぞれ1人1人思いがあって、早く双
524 葉に帰りたいという気持ちには、いささかも皆さんと同じ思いであると思います。早く帰れるの
525 かというと、いろいろな放射能の問題がネックになりますから、どうしても、前にも話しまし
526 たけれども、私ら70を超えていますから、ですから、なかなか行ってゆっくりできないと、そのよ
527 うな環境にはならないと思いますので、なんとか違うところというふう考えております。そ
528 れで、この仮の町についてなんですけども、集中的にすればイメージとしては非常にいいだけ
529 れども、諸々の条件がありますので、1番最初に私申し上げましたけれども、大野病院と厚生病
530 院の合併問題等もありまして、医療関係は特に先生方が来てくれなければ病院は成り立たないと

531 いう問題もあります。学校は学校で今言ったとおり、若い先生方はそういう所からは逃げたがる
532 ようにも見受けられます。それは、この放射能というものがまだどういうものなのか、「はっき
533 りとこれでいいですよ」というのが、そういうふうな線というのが、日本と外国と線量のレベル
534 についても、外国では 1m Sv以下といいながら、日本では 20m Svだったらば、そのところで
535 大丈夫ですよ、というようなお話なんですけれども。そんな 20 倍にもなって、それもチェルノ
536 ブイリについても、後から甲状腺のガンが出てくるとか。そういう問題、未知の数字に遭遇して
537 るわけですよ。ですから、福島がいい、あるいは、白河、郡山、あるいはいわきといいまして
538 も、私としてみれば、やはり分散型のほうが、役場そのもの機能とか何かで、デメリットはあろ
539 うかと思えますけども、そのほうが住民としては、仮の町から帰ることが、あるいはそこに住ん
540 だほうがいいのかと思っています。以上です。

541 【高野 重紘 部会長】

542 そうすると、分散型ということ。

543 【藤田 博司 委員】

544 はい。

545 【高野 重紘 部会長】

546 何か、意見ありますか

547 【三井所 清典 委員】

548 最初に委員をお引き受けしたときに、町長から言われたのは、「町民の皆様の意見をよく聞いて、その意見によってまとめてください。留意して下さい」と。「私がなんか言うわけではあり
549 ません」ということをおっしゃっていました。中村委員の町長に触れたところがあったんですけど、その時、私はそう言われたことを思い出してしまして、今まで、それぞれ皆さんが、本音で
550 おっしゃって、それが強い要望として県とか自治体とか国とか東電とかに、強く訴えていく力に
551 なるだろうなって思っています。今でもそう思っていますので、本音の話を出していただいて。
552 いろいろな条件が重なって、調整しながら、どっかで妥協しながらしていかないと、まとまらない
553 という、無理にまとめるということじゃなくて、仮に分散で幾つかにまとまるにしても、どっ
554 かでまとめなくちゃいけないとなってくときには、ある妥協点を見いだすような議論もしなくち
555 ゃいけないかなとも思ったりして。その時でも、私はどうしてもこういうところでこんな仕
556 事の関係とか、子どもの関係でここに住み続けたいという、動きたくないという話は、そういう
557 方であっても町としてどうやって支援していったらいいかという、国にどういう要望をしていっ
558 たらいいかというようなことについて、皆さんと一緒に議論をしながら、まとめていけたらいい
559 なというふうに思っています。今の段階であんまりあきらめたくないと思って。議論の段階で
560 は、あきらめた議論はしたくないと思っているんですね。あきらめるのはもっと先で、相手側の
561 いろいろな強い要望とか要請だとかって、どうしても自分たちの思いどおりにならないときに、
562 どうやって自分たちが納得しながら、折り合いを付けていくのかという議論が、やがてどっかで
563 来るだろうと、今年中ではなくってね。数年先に出てくるだろうなと思っていますので。方針を
564 早く出さないと困るという意見もございますけど、それは控えたいなというふうに思ってる気分
565 です。今日はいろいろな本音聞かせてもらってますので、すごく心の中、ズキズキしながら聞いて
566 おります。

569 【渡邊 ゆかり 副部長】

570 先程鶴沼委員もおっしゃってましたけど、小さい子ほど学校に馴染むのが早い。私も小さい子
571 どもがいるんですけども、小さい子どもがいるお母さん方と話をする、「もう転校はしたくな
572 いので、家を引越したとしても、同じ学校に行くようにする」というように話しているお母さん
573 方が多くて、「もう戻らない、その学校にずっといる」という話をよく聞きます。やっぱり、
574 うちの子どもに聞いても、「転校したくないな、もうそこに慣れてしまったので」というのがあ
575 るので、仮の町というのは、1カ所に大きいものがある、各地というか、小さく2カ所、3カ
576 所に小さい機能があったりすると、そこにまた人が集まってくるのかなと思ったりします。でも
577 小さい拠点にいる人たちというのは、そこでたぶん20年、30年経ったら町に戻れると思ってそ
578 こで過ごすと思うんですけども、20年30年経ってみて、親が、子どもが、町に戻るのかと言
579 われたら、その地域に馴染んでしまうので、もうそこから動かなくなってしまうのかなと。そ
580 ういえば、何が良いことで、メリット、デメリットありますけども、何が良いことなのかなと考
581 えると、皆さんの話を聞きながらも、どっちというのはだんだん分からなくなってきました。1
582 つの町もあってもいいと思うけど、バラバラに、分散型であってもいいのかなと、いうふうには
583 思います。

584 【三井所 清典 委員】

585 一言。今の避難生活をいかに良くしたいかということを考えながら、仮の町を考えていく必要
586 があると思うんです。それから、戻るといふ時に、自分が住んでいたところに戻るのか、線量が
587 少なくなったところに、人の土地なんだけど、そこに戻るのかとか、いうこともあるのかなと思
588 ったりします。双葉郡の中で、この町と一緒に、こういう所に住むというのもいいなど、
589 そういう戻り方もあるなということもあるかもしれないと思ったりですね。線量に恐れと思っ
590 てる子どもたちのことを思ってる親御さんのことについて、今の話はあり得ないなんてこともある
591 かと思いますけども、戻る場合の話として、自分が住んでいた所、その土地へ戻るのではなくっ
592 て、その地域に戻るといふことまで考えていってもいいのかなって思ったりしたことが1つ。そ
593 れから、仮の町と言っても、5年でみんなが移ってしまっ、もぬけの殻になるような町をつ
594 ると言うのは、ちょっと今、双葉の状況からいうと、できればそこに長く住んでいってもいい、
595 そこに30年も10年も住むということは、そこに定着するようなもんですから、ちゃんとした町、
596 ちゃんとした住宅地、ちゃんとした仕事のある場所というふうに思いながら仮の町を考えてい
597 て、それがすごく魅力的になれば、移った人がいたときに、あの町、すぐ埋まるような良い町だ
598 から住んでみたいと思うような人が新しく発生してくるような、良い町の仮の町を目指してつく
599 っていくというようなことも考えた方がいいなというようなことも思ったりします。頭の中に、
600 これまでの委員会が始まっているいろいろ考えてまして。とにかく、仮の町をもしつくとするなら
601 ば、長く住めて人が住みたいと思うような、これは大きくても小さくてもいいんですけど、そ
602 ういう集落、町並みをつくっていくって言うのがいいのかなというふうに思っています。

603 【高野 重紘 部長】

604 委員として、私の意見も述べさせていただきたいのですが、私の考えとしてはもう仮の町では
605 なくて、新生双葉町、自分ではもうそういう考えしかないです。特に、放射能がないということ
606 と、皆さんがおっしゃっていた、温暖な町というか、寒くないところ。雪が無くて、双葉町とい

607 うのは雪が無いし、暖かい町でしたよね。だから私はそういうところがね。1番考えたのは、福
608 島県じゃなくてもいいのではないかと。福島県の方もいっぱいいるから、私も言えなかったん
609 ですが、私の考えというのは、福島県じゃなくても、特に50年100年という形になれば、もう就
610 職のこと、学校のこと、考えたら、私は放射能無いところ、そういうところが1番の私の考えで
611 す。実際に私今、471 Bq、体内被ばくしてるんですが、そのために私も、先程中村委員がおっし
612 ゃったように、私は、福島県、宮城県、茨城県、特に茨城県で芋関係、あとは千葉県の魚とか、
613 千葉県のものは一切食ってませんし、あと、ペットボトルのお茶、お茶私全然飲んでません。そ
614 のぐらい今、真剣に放射能に対しては敏感になって、太平洋の魚は食ってませんし、全部日本海
615 の魚食べていますし、北海道の魚。そして、うちの家内なんて、すし食べたいというもんだから、
616 わざわざ山形の港まで行って、寿司を食べて来ます。そういうふうに放射能というのは、福島県、
617 会津のほうは別にして、あとは相当汚染されてるという考えで、子どもたちとか、そういうこと
618 を考えると、子ども、孫、曾孫のことまで考えないと、特に、山田についてを考えると、福島県
619 でなくても、例えば、ここ、加須に大きな土地、いくらでも土地あるんですよ。こういうところ
620 に拠点を持って、そして、特にこの場合だと、就職だって、東京まで40分くらいで行くでし
621 ょ。そういうこと考えたら、こういうところでもいいんじゃないかと。それが私の考えで、拠点を
622 持って何十年先を新生双葉町として置けば、良ければ皆さんが集まってくると思うんです。これ
623 はあくまでも私の考えなんです。だから、学校に近いとか、駅に近いとか。ここ駅に遠いとい
624 うのなら、国策でこの原子炉をやったわけですから、双葉駅、新双葉駅をつくってもらえばいい
625 ですよ。だから私は、鉄道まで引かせて、こういうところに町をつくれればいい。それによって、
626 道をつくれれば、みんなが集まって、それに町もでき、商店街もできると。だから、そこまで考え
627 たまちづくりも必要じゃないかなと。皆さんがだんだん集まってくると思うんですよ、分散型に
628 しても、1つくらいは、そういう将来を考えられる町。そういうことも必要じゃないかと。それ
629 が私の考えです。

630 【藤田 博司 委員】

631 食べ物については皆さん注意はしてるんだけど、福島県のは悪いとかどこどこが悪いというの
632 は、悪いのは出してないわけだから、だからその辺を自分らとしても考えてやっていかないと、
633 風評被害の旗を、自分がやるような形になってしまうんじゃないかというふうには感じました。
634 それであと、私が本当に言いたいのは、この原発事故になってから、みんな家族がバラバラなん
635 ですよ。みんな分散してしまっただけです。親、じいちゃん、子どもというふうに。それで、つ
636 い2ヵ月程前のことですが、違うとこにいた83歳くらいの男性の方ですが、奥さんは亡く
637 なっていないんですけど、やはりこの騎西高校のほうに来て生活するようになりましたね。そう
638 いうふうにとどこに行っても生活しているのがみんな厳しいんですよ。実際、私なども仮設住宅
639 などにも行って、知り合いがいて行ってみたら、奥さんが具合悪くて普通は何でも無かったのに、
640 具合悪くなる方も結構いるんですよ。仮の町、仮設住宅は3年とか何年とか言いますが、
641 そのままでいつまでもいるわけにもいきませんので、それだけの人数、双葉町だけではないん
642 ですけども、その人たちが少しでも前の生活に近づけたような生活ができるようなまちづくりを
643 していかなければならないというふうに思っております。先程、先生のほうからお話ありまし
644 けども、みんなそこに来るような、希望の持てる町をつくっていくというふうなお話もありまし

645 たけども、それに大賛成ですので、できるだけ仮の町ということじゃなくて、そこを発展してい
646 く、起点にしていくような、そして、長年放射能除染技術がこれから出てくるんだと思いますけ
647 れども、そしたらまた、帰って向こうで、私の場合だったら、きのこを作ってみたり、牛を飼っ
648 てみたり、そういうような田園風景を作りたいなというふうに思っております。以上です。

649 **【井上 六郎 委員】**

650 最後に一言。私、この問題考えたときに、時代が合わないかもしれませんが、戦後日本
651 では、自立するために開墾という制度ができました。日本至る所、開発されましたね。ところが、
652 文化も進み、生活も安定してくる、そうなってくると今何が起こっているかという、限界集落
653 というのができていると。分散型になっていくのもいいんですけども、そういう事になったら困
654 るなということも考えました。参考のために。

655 **【高野 重紘 部会長】**

656 あと私、藤田委員の意見に反論するんじゃないんだけど。実は、日本の放射能の測り方が問題
657 なんです。例えば、魚。皆さん知ってると思いますけど、最近、測る時に、これ世界でも問題
658 になってるんですが、頭取って皮取って骨取って中身だけ、洗うんですよ。放射能なんて少なく
659 なんの当たり前。だから私は、福島県の今度の農協の会議においても、私が言ったのは、検出せ
660 ず、ではないんですよ。少しは入ってるんです。その入ってるのを、調べ方がおかしいんじ
661 いか。野菜の放射能の調べ方だって、洗って調べるんです。それも普通、リンゴなんて、1分間
662 なんて洗ってないですよ。洗って、皮取って、中身だけ調べる。それ自体がおかしいんですよ。
663 だから私は、孫とかなんかには、「福島県のは食うな」というふうになってしまう。日本のその
664 放射能の調べ方自体が、私はおかしいと思っているから、それは、藤田委員、そういう考えで言
665 ったんですからね。誤解しないで。

666 **【藤田 博司 委員】**

667 私、国の代表で言いますけれども、結局、その取り除くものを悪いところをみんな取り除いて、
668 検査したというのは、その食べる部分だけを検査してるわけですよ。要らないとこまで検査す
669 る必要ないですよ。だから、魚だったら頭取って、内蔵取って、骨取って。それで今度、人間
670 が食べる部分だけを放射能の線量測れば、各自の人間に、自分たちが摂取する、その放射能が分
671 かるんじゃないか。私はこんなふうな考えております。反論して申し訳ないんですけども。

672 **【高野 重紘 部会長】**

673 時間そろそろなんです。どうでしょう。この問題で、資料3に事務局が整理した一覧表あり
674 ますけど、これに追加とか修正すべき点が無いか、ご意見いただければ。

675 **【井上 六郎 委員】**

676 次回でいいんじゃないですか。時間がないですよ。

677 **【三井所 清典 委員】**

678 メモかなんかで出してもらってもいいですよ。次回でもいいですよ。

679 **【高野 重紘 部会長】**

680 次回にしますか。無ければ無いでもいいんですけども。

681 **【三井所 清典 委員】**

682 真ん中に項目があって、左右に集中と分散があってメリットとデメリットと書いてあって、こ

683 の枠を意識しながら埋めてもいいし。あと、何かメモでも出してもらってもいいし。まとめる側
684 としては大変喜ばしいと思います。

685 【高野 重紘 部会長】

686 どうしますか。

687 【事務局 駒田 義誌】

688 メモの依頼をさせていただきます。

689 【高野 重紘 部会長】

690 そんなことで3番については事務局で委員の皆さんに郵送していただいて、その意見を書いて
691 いただいて送っていただくということで了解していただきたいんですけども、いいですか。

692 [各委員から同意の返事あり]

693

694 (2) その他

695

696 4. その他

697

698 5. 閉 会

699 【高野 重紘 部会長】

700 それでは、第1回の生活再建部会をこれで終了したいと思います。

701

702

703

第1回生活再建部会座席表

(敬称略)

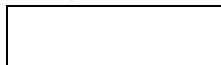
1 日時 平成24年11月12日(月)

14:45~16:30

2 場所 双葉町埼玉支所 4階家庭科室

副
部
会
長

部
会
長



| |
|--------|
| 高野 重紘 |
| 吉田 岑子 |
| 井上 六郎 |
| 荒木 幸子 |
| 大久保 敏己 |
| 高野 憲一 |
| 竹本 良一 |

| | |
|--------|-----------|
| 三井所 清典 | 駒田 |
| 藤田 博司 | 事務局 吉野 |
| | 松橋 |
| 中村 希雄 | |
| 鵜沼 友恵 | 事務局 |
| 渡邊 ゆかり | |
| 井上 一芳 | |
| 山下 正夫 | |